

日々の田高（2年生 古典探究の授業から）

2年生の古典探究の授業のひとコマです。

司馬遷が記した「史記」の中の「鴻門の会」の「剣の舞」を題材として、クラスを班ごとに分け、それぞれの班で「剣の舞」の部分について、寸劇を披露します。

すでに、授業で読み込んでいるものの、実際にやり取りを表現するとなると話は違います。

口語訳で分かりやすく進める班、演技者は原文に即して話してナレーターが補足をする班、登場人物の立ち位置に気を配る班、小道具を準備してくる班。

実際に喋り、体を動かすからこそ、なんでこのように話したんだろう？など自分ごとになります。理解を深めるとともに、他の班の舞を温かく見守り共有する時間でした。



原稿などの最終調整



寸劇の様子です（1）



寸劇の様子です（2）



寸劇の様子です（3）